

## UO スキル / 調教使役

### PDFJ::Text=HASH(0xb7afa8cc) 不調和

- ・ **難易度制**
- ・ スキル遅延 成功時 10 秒 / 失敗時 5 秒
- ・ プライマリステータス：INT
- ・ セカンダリステータス：DEX
- ・ Bardic Guildmaster

音楽を聞かせて、モンスターの能力を弱めるスキルです。それなりに弱体化させることが可能であるほか、本来 バード能力が効かないはずのボスモンスターでも、このスキルで弱体化させてからなら バード能力が効くようになることもあります。なかなか侮れません。使用するたびに楽器のチャージが減ります。

スキル上昇は**難易度制**なので、適切な難易度(スキル値より若干高め)の相手にスキルを使用する必要があります。スキルを直接使用して、使用する対象をターゲットします。この能力を使うことは「敵対行為」とみなされます。

効果範囲は「 $8 + \text{スキル値} \div 15$ マス内」で、その成功確率については正確な計算方法を示しています。スキル値 = バード難易度の相手で、楽器などの補正が何も無い場合 70%の確率になります。

この確率で成功した場合、以下のように対象の能力が低下します。以下の"GM ボーナス"とは、スキルが GM だった場合のみ「スキル値 - 100」で計算されます。

- ・ 全抵抗値が  $(\text{スキル} + \text{GM ボーナス}) \div 5$  低下
- ・ 全スキル・回避率・攻撃速度が  $(\text{スキル} + \text{GM ボーナス}) \div 5$  % 低下
- ・ ダメージが  $\text{スキル} \times 0.4\%$  低下

ちなみにバード難易度が 160 の場合 上記の効果は半減し、ピアレスボス (ML ボス) の場合は、更に半減 (要するに 4 分の 1) されます。この難易度は「ボス」であることを端的に表しています。

このスキルの効果は、対象が視線の通る効果範囲内にいて、スキル使用者が生きていて姿を消していなければ継続します。この条件が 10 秒以上満たされなかったら、解けます。

バードが使用できるマジックアイテムである fire horn の威力にもこのスキルは大きく関係します。どのように用いられるかは 詳細な説明を別記しているので、を御覧下さい。

タイム時の危険を低減するために、このスキルで能力を下げた状態にすると、タイム後のペットの能力ロスが大きくなるようです。

---

## UO スキル / 調教使役

---